自民富山

第４９号
自由民主党富山県連広報委員会
委員長　井 村　昭 彦
発行日　平成 24 年 7月 20日
印刷所　中 村 印 刷 工 業 ㈱

決められる政治を！

自由民主党富山県連会長
衆議院議員
宮 腰 光 寛

党員、党友の皆様には、日頃から党勢拡大や各種選挙支援などでご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。先般の県連大会において富山県連会長職に就任致しました。微力ではありますが歴史と伝統ある富山県連の一層の発展のため、努力して参る所存であります。

今国会では、「大事なことを決められない政治」からの脱却が求められております。社会保障と税の一体改革は将来世代に負担を先送りしない意味でも、今国会中に決めるべきことを決めておかなければなりません。

自民党としても、責任政党としての役割を果たすために三党合意を実現しました。合意内容は、ほぼ自民党の主張に沿ったものとなり、民主党のバラマキマニフェストは、実質的に撤回となりました。一日も早く決めることを決め、その後ただちに国民の審判を仰ぐことが、国家、国民のためになることは明らかです。

地域にしっかりと根を下ろした国民政党・自民党の底力を発揮し、皆さんとともに政権奪回に向けて努力することをお誓い申し上げ、ご挨拶といたします。

ともにがんばりましょう。

第60回県連定期大会

「宮腰会長、高平幹事長の新体制」をスタート

5月27日、第60回自民党富山県連定期大会を富山県民会館大ホールで、石井知事、県選出国会議員、各市町村長をはじめ、党員・党友約1，300人が出席し開催しました。

党情報告に立った高平幹事長からは、党活性化ＰＴで作成した「党活性化に向けた提案書」を実施し、党勢拡大・党活動の活性化を図って、衆議院総選挙や来夏の参議院選挙に勝利するとした。

また、今期限りで引退を表明した長勢県連会長の後を引き継ぐ会長職について、宮腰光寛衆議院議員が後任会長に就任することの報告があり、これを了承し、自民党富山県連は「宮腰会長、高平幹事長の新体制」をスタートさせました。

大会では、永年わが党に貢献された優秀党員・党組織、友好団体、協力者の方々を大会にて表彰しました。

大会後の記念講演では、自民党副総裁 大島理森 先生が演壇に立ち、一日も早い衆議院解散総選挙を求め、全国組織率日本一の富山で勝利することが政権奪還への道だと訴えました。

その後、県連党大会終了後には、大島理森 党副総裁と県選出の国会議員が富山駅前の街頭に立ち、駅前を行き交う多くの市民に対し、政権奪還を目指す強い意気込みが伝わる街頭演説を行いました。

富山県連女性部

「県外研修」を開催

富山県連女性部（田伏加南代部長）は4月8日～9日、1泊2日で県外研修（福島県訪問）を開催。大型バス1台、空席なしの45名が参加しました。

この研修会は、1月の党大会で桜田福島県連女性部長の厳しい体験を乗り越える為に頑張っておられる心のこもった力あるメッセージ『福島に来てください！』に感動し企画いたしました。

1日目、喜多方市、会津若松市を観光ボランティアガイドのもと見学し、磐梯熱海温泉へと向かいました。柳沼前女性部長はじめ地元仲間の出迎えを受け、暫しの交流をいたしました。そこで神奈川県警の１４０名程が交替で宿泊し、作業現地へ約2時間もの移動で職務にあたっておられる方達と同宿となり原発を感じました。

2日目、福島県連で『ふくしまから はじめよう。～生きぬく力をはぐくむ〝ふくしま〟を目指して～』と題して、桜田部長の講演をいただきました。福島は原発被害もあり他の被災2県より復興が遅れ、家族がバラバラになるなど問題が多いことや、あの時の惨状にふれられ涙なしでは聴くことはできませんでした。ネットワークや人々、家族の絆の大切さを再認識しました。心ばかりの義援金を贈り会場を後にしました。その後、福島県庁を訪問し、内堀雅雄副知事との面談が実現しました。バスに買物の荷物をいっぱい、感動をいっぱい詰め込んで全行程を終え帰路につきました。

魚津市連 女性部

自民党全国大会で、特別に時間をいただいた福島県連女性部長（県議）の桜田葉子氏が「福島へ来てください！福島の復興の応援をしてください！」と発言されました。それに応えて我が富山県連女性部の田伏部長が誰よりも早くバスをチャーターし、4月上旬に一泊二日で福島県へ赴きました。その際、桜田先生の講演を拝聴する機会を得ました。そしてその講演を魚津の皆さんにもぜひ聴かせてあげたいと思い、その場で魚津市連女性部総会での講師をお願いしたところ、快諾してくださいました。

総会日程を、6月9日、新川文化ホールにて150名の参加人数目標と定めました。また風評被害でモノが売れないという現実を聞いておりましたので、役員で、ミニ福島物産展も同時に開催する計画を立てました。

当日は受付開始から続々と参加者がお見えになり、最終的には会場に入ることのできない方がおられるほどの盛況ぶりとなりました。

講演は、生で語られる震災の現状に参加者の皆さんは涙を流されながら聴いておられ、又、桜田先生から福島産キュウリ（約50本入り10箱）のプレゼントもあり、感動と心和む総会となりました。

ミニ物産展もおせんべいやゆべしの詰め合わせが完売となり、皆様方のご協力に感謝すると同時に、絆の力を感じる事ができました。

皆さん、これからも被災地復興の為、応援しましょう！

富山県議会 議長に山辺氏、副議長に大野氏

富山県議会では、2月定例県議会最終日の3月23日、正副議長の改選を行い、議長に山辺美嗣氏（自民5期、南砺市）、副議長に大野久芳氏（自民4期、黒部市）を選出しました。

富山県政発展のため、正副議長の今後益々のご活躍を期待しております。

副議長
大野久芳氏

議長
山辺美嗣氏

自民党員募集！
自民党は党員を募集しています。詳しくは、お近くの自民党支部又は自由民主党富山県支部連合会まで
〔自由民主党富山県支部連合会〕〒930－0095 富山市舟橋南町3－15
TEL 076－432－2520　http://www.jimin-toyama.jp/

富山県連青年部・青年局

公募提案型政策コンテスト『とやまの未来を拓く 元気な明日創造プラン』を実施

公募提案型政策コンテスト『とやまの未来を拓く元気な明日創造プラン』は、若い世代の斬新なアイディアを広く募集し、政策として練り上げたものを県政に反映させようと、青年部・青年局が今回はじめて開催しました。

この政策コンテストには、党員の有無を問わず、個人やグループからあわせて20の政策・アイディアが寄せられ、青年部・青年局の役員が書類審査にて8つアイディアを選抜。通過者には、決勝審査として、200人を超える聴衆を前に、公開プレゼンテーションを行ってもらいました。

どれも現代社会の課題を的確に捉えた甲乙付けがたいものでしたが、厳正な審査の結果、富山市の久保大憲さんの提唱した『不妊治療の支援』が最優秀賞に輝きました。

決勝審査の審査員として、党本部よりお越しいただいた青年局長代理の熊谷大参議院議員からは、富山発の新たな試みを大変高く評価していただいたところです。

青年部・青年局としては、今回いただいたアイディアをひとつでも実現に近づけるべく、一層の努力をしていく所存です。

○最優秀賞（1名）

提案者：久保　大憲さん
政　策：「不妊治療の支援」

○優 秀 賞（2名）

提案者：長谷川　泰彦さん
政　策：「人とまちの絆を結ぶ優しい交通ネットワーク」

提案者：チューリッパーズ23（大野・新田）さん
政　策：「ちょっこしサロン（むかしのわこうどのたまりば）」

○参 加 賞（5名）

提案者：愛本新青年団（小森・若林）さん
政　策：「ECOカー推進」

提案者：麻生　大輔さん
政　策：『富山県民一体化計画「呉東、呉西の戦い」』

提案者：川瀬　悠さん
政　策：「NEO屋台による日本一の屋台村」

提案者：平木　柳太郎さん
政　策：「社会起業家養成教育機関の創設」

提案者：本田　敏さん
政　策：「小さい消費が経済と自民党を蘇らせる」

公募提案型政策コンテスト 最優秀賞

提案者：久保　大憲さん（富山市）
政策：「不妊治療の支援」

STOP

不妊退職！

「不妊治療」と「就労・雇用」が両立できる社会を目指して

① 不妊退職の背景

- **不妊退職「不妊治療」or「就労継続」の選択**
  - ◆肉体的・精神的な不安　◆職場でのストレス
  - ◆経済的な不安　◆家庭・親族からのストレス
  - ◆再就職の不安　◆社会からのストレス
- **不妊の現状**
  - ー不妊治療患者　46.6万人（2006年推計値）
  - ー100人中　2人が体外受精による出産（2008年）
  - ー子どものいない夫婦の半数以上が不安を感じている
- **今の支援では「不妊治療」と「就労」の両立が困難**

② 不妊治療患者向けの政策提案

- **日本の労働者の権利**
  - ①業務上の負傷　②疾病　③育児　④介護　⑤出産
- **「不妊治療」は労働者の権利として認められていない**
  - ー「不妊治療」と「就労」の両立は困難
- **「不妊治療」を労働者の権利とする**
  - ー労働基準法の改正
  - ー「不妊」＝「疾病」とすることで傷病手当の対象とするか
    育児休業・介護休業と同様に給付金制度の導入を目指す
- **「不妊治療」と「就労」が両立できる社会へ**

③ 不妊治療を支える企業向けの政策提案

- **不妊治療を受ける年代**
  - ー20代後半から30代　企業の中心として働いている
- **「不妊治療による休業」・「不妊退職」**
  - ー企業の競争力が低下し継続や成長に大きな懸念
- **自助・共助では限界　公助が必要**
- **企業へ雇用助成金の支給**
  - ー財源は労働保険特別会計　雇用勘定　雇用継続給付
  - ー失業給付を支払うよりも国の支出は少なく済む
- **「不妊治療」と「雇用」の両立で企業支援**

④ 政策の実現による波及効果

- **少子化対策**
  - 妊娠後の支援　＋　妊娠前からしっかりとサポート
  - 子どもが欲しい人が不妊治療を受けることができる社会
  - 治療を受ける人が増える　→　出生数の増加
- **雇用対策**
  - 失業してからの支援　＋　失業を予防する支援
  - 不妊治療を受けながら就労できる社会
  - 失業者の増加を未然に防ぐ　→　失業率の改善
- **中小企業支援**
  - 優秀な社員を継続的に雇用できる社会
  - 企業の競争力の維持と発展に寄与　→　景気回復を下支え

第60回 自民党富山県連定期大会被表彰者等名簿

1、優秀党員

党員氏名	支部又は組織・機関名
松本　弘行	富山市連
京田　千鳥	富山市連
松嶋　浩二	高岡市連
安達　進	射水市連
吉田　洋繁	射水市連
吉崎　実	魚津市連
松波　久晃	氷見市連
山本　文敏	滑川市連
大上　幸生	黒部市連
髙松　武一	砺波市連
北山　義夫	砺波市連
坂田　行弘	小矢部市連
北田　正雄	南砺市連
堀　豊次	南砺市連
平本　泰準	上新川郡連
吉川　毅一	中新川郡連
立塚　秀雄	下新川郡連
名徳　隆弘	婦負郡連

2、優秀党組織・機関

組織又は機関名
自由民主党高岡市連合支部
自由民主党大沢野支部
自由民主党上平支部
自由民主党魚津市連合支部 女性部
自由民主党大門連合支部 青年部・青年局

3、友好団体

組織又は機関名
自由民主党富山県遺族会支部

4、協力者

氏　名
近藤　駿明

絆 KIZUNA がんばろう日本！ 自民党

党活動戦略本部主催

「社会保障と税の一体改革」に関する党員研修会を開催

6月29日（金）党活動戦略本部では、富山県地方議員連絡協議会との共催で「党員研修会」を、とやま自遊館にて開催しました。

「党員研修会」は党活動戦略本部が企画し、党活動戦略本部で決定した政策テーマ「社会保障と税の一体改革」を演題に、党本部税制調査会会長　衆議院議員の野田　毅　先生に講演をお願いし、党員350名が参加しました。

「党員研修会」の演壇に立った野田先生は、少子高齢化により社会保障関係費が増大するなどの主要経費別の歳出増減や、社会保障制度は、自民党の考え方が全面的に反映されるなど、3党合意に至った一体改革関連法案の経緯を説明し理解を求めました。

また、今年3月23日に党活動戦略本部が取りまとめた提言書「党活性化PT　最終報告書」の「党本部派遣講師等による国会議員は街頭演説を実施する」との提案に基づき、「党員研修会」の講師で来県を戴いた「衆議院議員　野田毅　先生」をはじめ、衆議院議員　宮腰光寛　県連会長、野上浩太郎　参議院議員が街頭に立ち、富山駅北口、富山グランドプラザ前の2箇所の街頭にて、行き交う富山県民に向かい「政権奪還」に向けた街頭演説を実施しました。